

# 女性活躍推進フォーラム 第1回

## 5年ぶりリアル開催で大盛況

### 20社から正規社員29人が参加

#### 竹部裕樹氏が実務講座 「増客」で企画作りへ

人材育成委員会主催の令和6年度第1回「女性活躍推進フォーラム」が9月26日、東京・日本橋三洋グループビルで開かれた。5年ぶりのリアル開催となり、日遊協会員企業とMIRAI加盟企業20社から女性正規社員29人が参加した。

にありながら、業界内での女性社員の活性化を進めていきたいと企画された本フォーラムは、社会の壁、会社の壁、個の壁といった課題の存在を認識し、自社に持ち帰

見識を高め、「実務の後押し」で技術向上をサポートするプログラムとなっている。  
今年にはフォーラムでの経験を成長のきっかけとし、自社内での活

ることができる  
企画立案プロセスを通して「風土形成の後押し」を行い、フォーラムによる「知の後押し」で

#### 参加者 (順不同、敬称略、(株)略)

- Aグループ**=長田由香里(フローバ)、高橋梨奈(夢コーポレーション)、川本和華(キスケ)、望月聖梨奈(ABC)、小野寺美優(セントラル伸光)
- Bグループ**=岩田瑠恵(ミナミ・エンタープライズ)、小栗千奈(平成観光)、郷古知花(NEXUS)、岡崎泉海(日拓ホーム)、山本真由香(夢コーポレーション)
- Cグループ**=阿部陽子(合田観光商事)、田中尚子(フローバ)、上野由香(正栄プロジェクト)、藤田瑞季(マルハン)、富田真衣(平成観光)
- Dグループ**=箱崎優香(善都)、矢野亜弥佳(キスケ)、満尾夏南(マルハン)、柳本美結(アサヒディード)、中林優奈(安田屋)
- Eグループ**=原田愛(三慶商事)、田中冴佳(ダイナム)、笹川ゆき乃(オータ)、瀧紗彩(日拓ホーム)、中原美咲(第一物産)
- Fグループ**=若山久美(合田観光商事)、岩谷恵里香(正栄プロジェクト)、佐藤早苗(ニラク)、中川恵里香(オータ)

◀実務講座を担当する竹部氏



女性活躍推進フォーラムの卒業生でもある、山下夏恵委員(日拓ホーム)が司会を務め、日遊協の役割や女性活躍推進の必要性を解説。日本国内の労働人口の推移や外部環境から推測される2050年の労働環境の予測、世界各国と比較した日本の女性活躍の低調さとその



グループに別れて講義を聴く参加者

躍につなげることを目指し、「増客」をテーマに自社に持ち帰り提案できる企画立案をグループで練り上げ、発表することをゴールに設定した。

第1部のセミナーでは、エンタテインメントビジネス総合研究所の竹部裕樹氏が講師に立ち、「マーケティング」について講演した。まずは初対面のメンバーが、これから4か月にわたり一つのテーマを追いかけていくプロセスを、よ

り効果的にするためのチームビルディングの基礎知識

あいさつする  
羽山雄介副委員長





5年ぶりのリアル開催で全員集合した女性活躍推進フォーラム

を提供。続いて、今回のテーマである「増客」という概念について解説、集客と増客の違いや、増客を



はかるためのより良いアイデアにつながる思考方法などに加え、本フォーラムならではの視点をもつた、本質的な行動を浮かび上がらせる働きかけが行われた。

第2部のグループディスカッションでは、あちこちのテーブルから「わかる、わかる」といった声や同意の拍手などがあがり、盛り上がりを見せた。

フォーラムの最後に羽山雄介副委員長が、「今回は5年ぶりの対面開催としまし



たが、準備しながらも多少不安がありました。しかしみなさんの楽しそうな姿を拝見して、対面はやはり良いと思えました。企画立案のプロセスはまず仮説を立てるところから始まります。その企画をどう説得力のあるものにできるかは、お客様の顔をよく見ているみなさんならではの視点が大切です。楽しみにしています」とあいさつし第1回目を終えた。

## 人材育成委員会

9月26日  
日本橋三洋グループビル  
出席委員等15人

## フォーラムの最終確認

同日午後開催の令和6年度第1回「女性活安推進フォーラム」のタイムスケジュールの確認などを行

女性活躍推進フォーラムの打ち合わせなどを行った人材育成委員会



を務める  
山下夏恵委員  
司会

つた。リアル開催経験委員も少ないため、オンラインとは異なるアプローチに関して情報交換を実施し、より効果的なフォーラムとなるよう細かな配慮がされた。

今秋開催を予定している人材育成フォーラムのテーマについて、継続協議とした。

MIRAIが主催する「MTC研修第五講」が10月17日にDNM.com本社で開催されることが紹介された。